

平成 25 年 6 月 15 日

北関東フォーラム

於：シムックス

中斎塾 北関東フォーラム

平成 25 年度第 5 回

論語に「三省」という言葉があります。三省とは、三回見直しをするという意味ではありません。頭の中にちょっと浮かんだら、その都度、反省する。時々、ふっと思い出すことを三省と言います。

東京神保町に三省堂という書店がありますが、論語の「三省」からとっています。前橋には煥乎堂という書店がありますが、同じく論語からとっています。私は実際にどちらの書店にも出かけて行って、役員に会って、名前の由来を確認しました。こうやってお話をする時には、必ず確認をしています。尚且つ、話をしても良いという承諾を得て、何処でも同じ話をしています。

恒例の質問

では、恒例の質問に参ります。

○ 昨日一日、嘘をつかなかった方？

皆さん手が挙がりました。だんだん嘘をつかないことの中身を聞くようにします。仕事上で、どうしてもこれくらいはリップサービスをしなければいけないかなという場合があります。その時は、〈これはどうかな？〉と心に引っかかってくればよろしい。嘘をつかないで一日過ごす、翌朝目覚めが良いと思います。

○ 昨日一日、良い日だったと思う方？

これも皆さん手が挙がりました。自分の良い気持ちを、人様におすそ分けするとよろしいでしょう。するとそれが倍になって返ってきます。

○ 昨日一日、有難うと言ひ・有難うと言われた方？

年配になると、だんだん「有難う」と周りから言われる機会が少なくなります。人様に何かして差し上げる心持ちがないと、なかなかそうはいきません。

○ 今朝起きてから今まで健康法を実践した方？

(手を挙げた方が少ない) では、昨日、健康法を実践した方？ ここ 1 週間？ 1 か月？

何とか皆さん手が挙がりました。自分で健康法だと意識すれば、健康法になります。健康法とは肉体的に良いものと考えがちですが、肉体面における健康法と精神面における健康法と2つあります。

○ 昨日寝る時に、今日のことを過去形でイメージして眠れた方？

寝る時に、＜明日はこういう予定があるな＞と思って寝るだけではなくて、予定が浮かんだなら、寝る瞬間は、＜予定が全部出来て良かったな＞と思えるとよろしい。仮に具体的なイメージが湧かなくても、予定が出来て良かったなど満足して眠る自分を想像できれば、今の質問はクリアです。そして、寝た瞬間は笑顔だったかどうか奥様に聞いてみるのも良いでしょう。そうすると夫婦和合にもなると思います。

『カレント』6月号から・・・

昨日、地下鉄の車内で偶然、『カレント』を出版をされている矢野弾さんにお会いしました。季刊誌「知足」の次の対談を矢野さんをお願いする予定で、矢野さんに連絡を取りたいなあと思っておりましたら、目の前に座っておられた。会いたいと思っていると、目の前にやってくるものですね。本屋さんで読みたいと思う本が勝手に眼の中に飛び込んでくるという経験をした方もおられるのではないのでしょうか。自分が欲しいもの・会いたいもの・見たいものは、意識しているとフッと飛び込んできます。それが阿頼耶識というものです。

本日は、『カレント』6月号（潮流社）を御紹介します。私は以前、「財政再建は山田方谷に学べ」というテーマで半年間掲載をさせて戴きました。『カレント』は日本の国の問題点を摘出し、それに対して対策も書かれていて、小さい雑誌ですが非常に中味の濃いものがあります。衆参両議院の議員さん全員に送っているそうで、歴史のある雑誌です。是非、一読をお勧めします。

その中から幾つか中身を御紹介します。

「今を語る、明日を生きる」というテーマで矢野さんが書いておられますが、現在の日本は哲学が不在であると強調されています。また、最近銀行も変貌したということで、「そもそも銀行は、日本の国の中に優秀な企業家が生まれるように、そして企業が育つようにという役目であったにもかかわらず、自分で商売をし始めている」と警告しています。

また、編集後記に面白い記述がありました。沖縄の主権は中国にありという議論を中国が始めた。とんでもない事だ」とあります。

盲人写真展の話もなるほどと思う記事でした。盲人写真展では、盲人の人が自動焦点カメラで撮った写真と、それを凹凸に転換したコピーパネルを並べて展示し、目の見えない

人でも実際に触って鑑賞することが出来るように工夫されているそうです。

もう一つ良いなと思ったのは、矢野弾さんの必読書として四冊紹介されています。内村鑑三の『代表的日本人』、新渡戸稲造の『武士道』、岡倉天心の『東洋の思想』『お茶の話』です。これらの本は外国人向けに日本を知らしめるために英語で書かれたものです。海外で大評判になり、後に日本語に翻訳されました。

私は28歳で会社を創業し、58歳で社長業をバトンタッチしました。その後、3人の社長が引き継いでおりますが、その度に「歌舞伎は見ましたか？ 能・狂言は見ましたか？」「外国人が来た時に、英語で日本の歴史が語れますか？ シムックスの歴史は言えますか？」と聞いています。また、執行役員にも同じ質問をしています。ほとんどの人から「いいえ」という返事が返ってきます。そこで、内村鑑三と新渡戸稲造を読むことを薦めています。英語の能力を身に付けるのは勿論良い事ですが、たとえ英会話の能力が上がっていても、話をするべき中身・学問的な裏付け（奥行）がなければどうしようもありません。

先程の岡本代表が慣用語の理解度について話をされましたが、木内信胤先生も同じような話をされていました。色々な会合で挨拶を頼まれると普通は謙遜して話を始めるのですが、木内先生は余分な前置きを言いませんでした。「私は慣用語は使わないよ。西洋文明と東洋文明の欠点が慣用語に出ている。思ったことを素直に言えばよい」と仰っていました。意識して謙遜することはないと木内信胤先生が言っておられたことが心に残っていて、私も挨拶をする際には「僭越ではございますが・・・」などとは絶対に言いません。

今朝の日経新聞で、「スマホの世帯普及率 49.5%」という記事がありました。「総務省は14日、2012年末のスマートフォンの世帯普及率が49.5%だったと発表した」とあります。ここから読めるものは、総務省が発表したものを垂れ流して新聞に載せているという事です。更に、「調査は20歳以上の世帯主がいる全国の約4万世帯を対象に実施し、有効回収率は約5割」とあります。たかだか4万世帯に聞いて、返事が返ってきたのがその半分です。ここで問題なのは、持っているという数字であって活用しているというわけではありません。スマホが普及しても、活用していない方が沢山いるのではないかと思います。従ってアンケート調査というのは、その実態をよくみなければいけません。

論語は現代社会を理解するツール

初めての方もおられますので申し上げますと、論語は、読めるようになったら入口に立った段階です。読んでいて、大体状況がイメージできるようになれば初級合格。そのうち

に登場人物が映画を見ているように動き出したら中級合格。そして自分の話を人様が聞いて、納得してくれたら上級合格だと思って下さい。

また、くれぐれも論語は字句の解説で終わってはいけません。現代の社会に置きかえる。現代の社会を理解するためのものとして使って、自分自身の行動に役立たせることが肝心です。論語の中には必ず判断基準が沢山入っていますから、自分が困った時には論語の中から見つけ出して戴くとよろしいでしょう。

では、解説を致します。

【二二】子 匡に畏す。顔淵 後れたり。子曰く、吾 女を以て死したりと為せりと。曰く、子 在す。回 何ぞ敢て死せんと。

孔子一行が匡にさしかかった時、かつてこの地で悪さを働いた陽虎と間違えられて、取り囲まれて窮地に陥った。後から追いついた顔淵に「私はてっきりお前が死んでしまったかと思ったよ」と言って孔子が喜んだ。顔淵は、「先生が生きておられるのに、私が軽々しく死ねましょうか」と言った。

学者というのは色々な角度から見ますので、だいたい言葉尻を捉えて研究する事が多いのですが、たまたま珍しい解説がこの部分にはあります。というのは、孔子と顔淵は同性愛ではなかったか、という解釈です。論語でそういう艶っぽい解説を出すのは珍しいと思いますが、それくらい孔子と顔淵の師弟愛が麗しいものであったと考えればよろしいでしょう。

【二三】季子然 問う、仲由・冉求は大臣と謂うべきかと。子曰く、吾 子を以て異なるを之れ問うと為せり。曾 ち由と求とを之れ問うか。所謂大臣は、道を以て君に事え。付加なれば則ち止む。曰く、然らば則ち之に従わん者かと。子曰く、父と君とを弑せんには、亦 従わざるなりと。

季子然が孔子に聞きました。「私が召し抱えた仲由と冉求は、大臣といっても良い人物でしょうか」

孔子が答えました。「私はもっと立派な人物のことをお尋ねになるのかと思っておりましたが、由と求のことでしたか。そもそも大臣というものは、正道を以て主君に仕え、正道が通らなければさっさと辞職するものです。今の由や求は、まだ大臣級の能力はありませんから、数合わせで並べられたという所です」

季子然は、あなたの優秀な弟子を家来に召し抱えたと孔子に褒めてもらいたいという下心があるわけです。対して孔子は、季子然が君子の財産を横取りしているけしからん人間だと見ていますから、このように皮肉を言っています。

季子然が少しムツとして、「具臣ならば、主人の命令には何でも従いますね」と云うと、孔子は、「数合わせの具臣といっても二人とも私の直弟子ですから、主君を殺せとか父を殺せというような非道な命令には従わないでしょう。あなたの思う通りには動きませんよ…」と云った。

具臣とは名前だけ、数合わせで並べられた大名です。数合わせであたなのような不逞の輩に仕えても、それなりの筋を通す力を持っているので役には立つでしょうね、と孔子が皮肉を言っています。

現代に置きかえて考えましょう。

復興庁の職員がツイッターで「左翼のクソども・・・」などと馬鹿なことを書いていますが、この人は数合わせで並べられたのでしょうか。だから余計なことをポロツと言ってしまった。おそらく人から罵倒された経験などはないのでしょうか。翻って、自分自身が人から罵倒された時、どういう対応をすればよいか考えるとよろしいでしょう。国会の答弁などを見ているそうですが、安倍さんはどういう答弁の仕方をしているか、質問者はどういう質問をするか・・・等々、季氏然と孔子の会話を現代に置きかえて見るとよいと思います。

【二四】子路 子羔をして費の宰為らしむ。子曰く、夫の人の子を賊わんと。子路曰く、民人有り、社稷有り。何ぞ必ずしも書を読みて然る後 学ぶと為さんと。子曰く、是の故に夫の佞者を悪むと。

子路が友人の子羔を費の国の代官に抜擢しました。

孔子が言うには、「子路、お前は軽はずみだ。そんな重要な役職に就けたら子羔が潰れてしまうではないか。」

子路が「先生、余計な事を言わないでください。すでに治める民がいて、社会があります。現実の体験を活かして学ぶのも、立派な学問修養だと思います。(本を読むことばかりが学問を鍛える道といえましょうか)」と、口答えをしました。

孔子が「お前は以前は無骨者だったけれども、だんだん口達者になって困ったものだ」と言いました。

私が教えたのだから仕方がないかと孔子が思いつつ、子路のやり取りが掛け合い漫才のようで面白いと感じます。

時事評論 一縦と横、点と面の学問一

本日のテーマは縦・横・面の学問ですから、学問についての話をしつつ、時事評論で解説を致します。

今、私共が学んでいる学問は、縦の学問で申しますと、おおもとは儒学です。儒学は朱子学や陽明学や折衷学等々の入り口がありますが、私は陽明学をベースにお話をしています。ですから我々の縦の学問は、儒学、その中の陽明学であると理解して下さい。一般的に話をする際には人間学という言い方もしますし、論語の勉強会という言い方もします。

横の学問とは、色々な知識を沢山集めてきます。人さまと会話をする際に何でも受け答えができますから、横に広がっていきます。但し、人間が深まるためには、縦の学問をして根っこをどんどん地中深く入れる必要がある。根っこが地中深く入れば、花もきれいに咲きます。

私はそれにプラスして、点と面について申し上げておきます。今日お話をしているのも色々な話がランダムに入っていますが、これは点を話しています。そうやって色々な点を自分の中に入れていくと、ある日突然、点が小さい塊（面）になります。面になった時を小さな「悟り」と言います。種々雑多な情報（点）が入ってきたものが、途中でポンと固まると「一皮剥けた」という状態になります。一皮剥けた人がどんどん増えていくと、それがグループとして大きな力を持つてくる。そういうふうには縦・横、そして点・面の学問を考えて戴くとよろしい。

そういう見方で時事評論を致します。そこからどういうふうな面に広がっていくかを申し上げます。

今朝の新聞で「法人減税 次の争点」という見出しがありました。麻生さんが「法人税を払っていない会社は7割を超えている。税率を下げてても全然効果がない」と記者会見した。麻生さんはアドバルーンを揚げる役ですね。

また、コンビニ大手4社がマイナンバー制度にらんで、コンビニ4万店でICカードを使って簡単に住民票等の証明書類を発行するサービスを行うと出ています。

更に、6/12の日経新聞の記事に、「日米両政府は、日本の金融機関が2015年3月末までに米国民の口座情報を調査し、米側に日本の状況を報告することで合意をした」とあります。アメリカ国民の課税逃れを防ぐアメリカの法律に対応するためです。

以上の3つの<点>を申しました。全部、日本国は税金を強化するというという<面>になります。マイナンバー制度は、税金逃れをしている人たちを徹底的に調べ上げるという狙いです。コンビニ4万店がそれに乗った。これは政府の狙いに協力するかわりに、自分達の商売も儲かるようにしたいという思惑が透けて見えます。法人税減税に関しては、まさに朝三暮四です。減税の代わりに別の税金を引き上げる。例えば生活保護に関しては、今迄は申請されると役所は受け付けなければならなかったものが、今回ハードルが上がりました。生活保護の申請をした人の身内の調査を徹底するようになりましたから、実質的に生活保護を受ける人は減っています。これは740億円くらいのカットになるそうです。まさに「入るを量り出づるを制する」ということを、悪いやり方で実行しています。アメリカの国民の税金逃れに協力するというのは、翻れば、外国で資産を持っている日本人に網をかけるということです。ですから皆、税金をとるようにしているわけです。全世界みな似たような動きをしています。

山田方谷も言っているように、重税は国を滅ぼす。同様に、哲学を持たなくなった国家は滅びる。子供たちに自分の国の歴史を教えない国家は滅びる。親が子を殺し、子が親を殺す国は滅びる。・・・このように、国が滅びるための条件が現在日本のあちらこちらで出ていますから、意識して見て戴くとよいでしょう。それがひとつの学問の根底になります。ですから私は、終戦直後を考えてみるとよいと申し上げています。日本の国が滅びる危険性を国民が無意識に肌で感じ始めてきたと思っています。

他にもオバマさんと習近平さんの会談記事や、中国の大気汚染防止10項目などといった記事も小さく出ています。新聞記事を読む時は、出来得る限りこういった小さい見出しを見ることも重要です。

幾つか新聞記事を御紹介しましたが、我々は意識して、縦の学問の中に点という部分を見るとよろしいでしょう。新聞もおやっと思った記事は切り抜いておく。点が面になる時に非常に役に立つと思います。